

令和5年度（2023年度）

社会福祉法人紫苑の会

法人本部 事業計画書

1. 法人名称 社会福祉法人紫苑の会

2. 本部事務局所在地及び連絡先

(1) 所在地 東京都町田市金森東1-25-20（シャロームの家 内）

(2) 連絡先 TEL：042-728-0128 FAX：042-725-4178

URL：<http://shalom-ie.com/>

E-Mail：sionnokai@comet.ocn.ne.jp

3. 事業所数、事業種別および事業規模

事業所数 全6事業所

事業種別および事業規模

事業所名	事業種別（事業）	定員	認可取得（指定権者）
シャロームの家	生活介護	60名	2010/01/01（東京都）
という	生活介護	20名	2015/08/01（東京都）
アイリス	共同生活援助	5名	2017/11/01（東京都）
	短期入所	1名	2017/11/01（東京都）
相談支援センター シオン	特定相談支援	/	2019/01/01（町田市）
	障害児相談支援	/	2019/01/01（町田市）

4. 法人理念

（基本理念）

社会福祉法人紫苑の会は、障がいのある方の人権を守り、地域での暮らしを支えます。

障がいのある方の人格と個性、希望を尊重した支援サービスを提供します。地域社会との絆を強め、すべての人の「やすらぎの場」と幸せな暮らしの実現を目指します。

（スタッフ憲章）

一、私たち職員は、利用者と共にいき、共に成長しあい、ひとり一人の真の幸福を追求し、障がいのある方のいのちと人権を守ることを使命とします。

一、私たち職員は、職務に対する自覚と責任を持ち、絶えず自己研磨の励み、お互いの役割を尊重し、チームワークを大切にします。

一、私たち職員は、地域の方々や様々な関係機関と連携し、すべての人が豊かに生き生きと暮らすことができる地域社会作りに貢献します。

5. 今年度の重点目標

今年度も前年度に引き続き、以下の3点に重点を置き、法人全体の事業を推進します。

(1) 収支バランスの安定化と財政の健全化

社会福祉法人の運営は以前にも増して厳しい時代を迎えています。具体的には、社会情勢の不安が引き起こす物価や光熱水費の上昇がありますが、これに対する国や自治体からの補助は十分とは言えません。

人件費についても、雇用を確保する上から給与のベースアップを行っていますが、収入源である給付費は据え置かれています。

今、全国の約3分の1の社会福祉法人が赤字収支に陥っていると言われて

います。

紫苑の会も今後さらに難しい舵取りを迫られていくことになります。前年度からスタートさせた「運営企画会議」では、今後の法人運営を左右する「職員給与表」を作新すべく、検討を重ねています。

令和4年度中の完成を目指していましたが、まだ完成に至っていません。

今年度も引き続き検討を重ねて参ります。

また、法人の「中期5カ年計画」について、令和4年度が「第二次中期計画」の節目（終了）の年でした。今後の5カ年計画について、検討委員会を発足して検討を重ねて参りましたが、コロナの影響等により開催できない時期もあり、十分な時間を取ることができませんでした。

「第三次中期計画」についても、出来るだけ早く形のあるものにして、今後の法人運営に指針としていきたいと考えています。

(2) 雇用の安定と人材育成

雇用と人材確保を巡る状況は、かつてないほど厳しい状況になりました。理由として、社会全体で少子高齢化が進んでいること、さらに海外の雇用率が上がり、国内の人材が流出していること、また、そのことの影響を福祉の業種が受けていることが原因とされます。

現在の法人職員の賃金については、残念ながら現状を大きく変えることはできませんが、働き易く、風通しの良い職場、さらに職員間でお互いに助け合える職場を作ることで、職場としての魅力を創出したいと考えています。

(3) 新型コロナウイルス感染防止対策

今後、新型コロナウイルスの感染状況がどうなっていくのか、見通せないところがありますが、紫苑の会は今後も国の基準に従って、感染防止対策努めてまいります。

6. 会議の予定

会議名	内容	頻度
管理者会議	理事長および各事業所からの月次報告、 その他各事業所及び法人全体に係る案件の検討	1回/月
運営企画会議	法人運営を収支バランスから検討	1回/月
人事委員会	法人内の人事について検討	随時
虐待防止委員会	虐待およびその疑いのある案件について検証	1~2回/年
身体拘束適正化委員会	身体拘束およびその疑いのある案件について検証	1~2回/年

7. 研修計画

(法人全体研修)

月	研修会名	対象
4	事業計画	全職員（事業所ごと）
5	虐待防止	全職員
9	防災研修	全職員
10	精神的ケアを必要とする方への支援	全職員
11	ASD（自閉スペクトラム症）研修	全職員
12	安全運転講習会	運転業務従事者
1	救急救命講習会	全職員
2	事例検討会	全職員